

試験当日の注意事項

- 試験当日は**各自検温**を行い、発熱（37.5℃以上）、咳、頭痛等の症状がみられる場合や発熱がなくても体調がすぐれない場合は、来場・受験ができませんのでご了承下さい。また、試験会場において検温し、発熱（37.5℃以上）、咳、頭痛等の症状がみられる場合や発熱がなくても体調がすぐれない場合は、受験をお断りさせていただきます。
- 試験中、発熱（37.5℃以上）、咳、頭痛等の症状がみられる方は受験を中断させていただきます。また、体調がすぐれなくなった場合は、直ちにその旨を審査官にお申し出ください。
- 飛沫感染などを防ぐため、受験者は不織布マスクを着用して下さい。また、試験会場での私語は休憩時間や昼食時等も含め慎んで下さい。
- 試験会場への入退場の際に、検温・備え付けの消毒液による手指消毒にご協力下さい。
- 不織布マスクの着用、手洗い・うがいなど、各自での感染防止対策に十分ご注意ください。また、携帯用手指消毒アルコールや携帯用ウエットティッシュ等を試験会場に持参し、使用しても構いません。（試験中に机の上に置くことは禁止します。）なお、本人確認のため試験中に審査官が指示した場合は、一時的にマスクを外していただきます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。
- 試験当日、可能な限り、窓やドアを開けます。室温の高低に注意して容易に着衣・脱衣できるよう、服装には十分注意してください。また、会場によっては屋外からの騒音等が入ることがありますので、ご理解の程よろしく申し上げます。
- 審査官はマスクを着用して対応します。
- 試験当日は審査官の指示に従って下さい。